

TeraStation WSS WS-6VLシリーズ ※本書では、TeraStation WSSをTeraStationと表記しています。

導入マニュアル - はじめにお読みください -

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

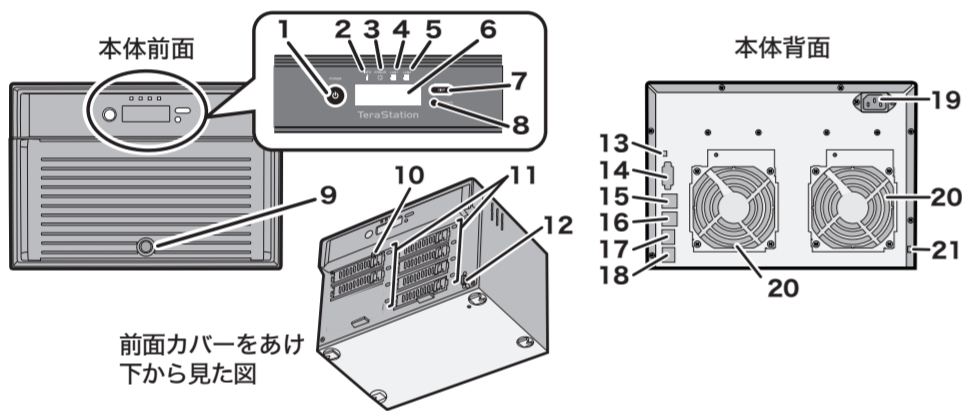
梱包物の確認

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- | | | | |
|----------------------|----|--------------------|----|
| □ TeraStation本体..... | 1台 | □ LANケーブル..... | 1本 |
| □ ACケーブル..... | 1本 | □ USBメモリー..... | 1個 |
| □ 3極-2極変換アダプター..... | 1個 | ✓ 導入マニュアル(本紙)..... | 1枚 |
| □ 前面カバー開閉用鍵..... | 2個 | □ ハードディスク交換手順..... | 1枚 |
| □ ケーブル抜け防止バンド..... | 1個 | □ 保証書..... | 1枚 |

※付属のACケーブルは3極です。ACコンセントが2極の場合にお使いください。3極-2極変換アダプターのアース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。
※前面カバー開閉用鍵は紛失しないよう大切に保管してください。
※保証書は本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称



- 1 電源ボタン**
電源ON：電源ボタンを押します。電源ONのとき、電源ボタンは緑色に点灯します。
※電源ボタンでTeraStationの電源をOFFにすることはできません。電源をOFFにしたときは、下記「TeraStationの電源をOFFにするとき」を参照ください。
- 2 INFOランプ**
現在の状態について伝えることがあるとき、橙色に点灯します。現在の状態については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。
- 3 ERRORランプ**
エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。
- 4 LAN1ランプ**
LAN1ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート1横のランプも同様に点灯します)。
- 5 LAN2ランプ**
LAN2ポートがネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します(LANポート2横のランプも同様に点灯します)。
- 6 液晶ディスプレイ**
TeraStationの状態などを表示します。
- 7 ディスプレイ切替スイッチ**
液晶ディスプレイの表示を切り替えます。警告音が鳴っているときに押すと警告音を止めることができます。
- 8 ファンクションボタン**
リカバリーを行う際に使用します。
- 9 ハードディスク取替用キーシリンダー**
付属の鍵で前面をあけることができます。ハードディスクを交換するとき、およびリセットスイッチを押すときに使用します。
※前面のハードディスク取替用キーシリンダー、鍵は誤操作防止用です。
- 10 リセットスイッチ**
強制的にTeraStationを再起動します。
- 11 ステータスランプ1~6**
各ハードディスクにアクセス時は1~6の各ランプが緑色に点灯します。ハードディスクに異常が発生したときは、異常が発生した番号のランプが赤色に点灯/点滅します。
- 12 ディスプレイポート**
- 13 USB/HDDブート切替スイッチ**
TeraStationに搭載されているWindows Storage Serverをリカバリーするときに使用します。
- 14 UPSポート(シリアルポート)**
シリアル接続のUPS(無停電電源装置)を接続できます。
- 15 USB 3.0ポート×2**
- 16 USB 2.0ポート×2**
- 17 LANポート1**
付属のLANケーブルを接続します。
- 18 LANポート2**
バックアップ用または別ネットワークに接続するときに使用します。
- 19 電源コネクタ**
付属のACケーブルを接続します。
電源コネクタには、使用許諾シールが貼付されています。取り外す前に、付属のUSBメモリーの[ms-licence]フォルダーに収録されているマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を必ずお読みください。シールをはがすと同意したとみなされます。
- 20 ファン**
ファンを塞ぐような設置はしないでください。
- 21 盗難防止用セキュリティスロット**
市販のワイヤーロックなどで固定することができます。
※ディスプレイ切替スイッチや液晶ディスプレイの表示については、画面で見るマニュアルをご参照ください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

搭載システム	Microsoft Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup ※付属のUSBメモリーの[ms-licence]フォルダーには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項が収録されています。必ずお読みください。
インターフェース(LANポート)	インターフェース：IEEE802.3ab準拠(1000BASE-T)、IEEE802.3u準拠(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T) 伝送速度：1000 Mbps全二重(自動認識)、100 Mbps全二重/半二重(自動認識)、10 Mbps全二重/半二重(自動認識) ポート数：2ポート (AUTO-MDIX対応) コネクタ形状：RJ-45型 8極
インターフェース(USBポート)	USB 2.0 ポート(シリーズA) × 2 USB 3.0 ポート(シリーズA) × 2
インターフェース(UPSポート)	インターフェース：RS-232C(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応UPS：オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は当社ホームページに記載しています。また、オムロン社ホームページの各製品ページにも記載があります。UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク	ディスクの構成：出荷時にCドライブはミラーモード(ディスク1、2を使用)、DドライブはRAID5モード(ディスク1、2、3、4、5、6を使用)に設定済み ※TeraStationのハードディスクが故障した場合は、別売の当社製交換用ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。詳しくは当社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。
電源 / 消費電力	AC 100 V 50/60 Hz / 約 170 W(最大)
外形寸法 / 重量	W300 × H215 × D230 mm (突起部を除く) / 約 11.5 kg
動作環境	温度 5~35℃、湿度 20~80 % (結露なきこと)
対応機種	対応パソコン：DOS/V(OADG仕様)対応パソコン、Apple Macシリーズ ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとはLAN接続になり、USB接続はできません。
対応OS	Windows 8(64ビット/32ビット) / 7(64ビット/32ビット) / Vista(64ビット/32ビット) / XP(64ビット/32ビット) / 2000 Windows Media Center Edition 2005 / 2004 Windows Server 2008(64ビット/32ビット) / Server 2003(64ビット/32ビット) / 2000 Server Mac OS X 10.3.9以降

TeraStationの電源をOFFにするときは
 1. リモートデスクトップの画面内で、Windows Storage Serverの[スタート]をクリックして表示されたメニューの[ログオフ]横にある▶をクリックします。
 2. [シャットダウン]をクリックします。
 3. オプションを選択し、[OK]をクリックします(電源スイッチが緑色点灯から消灯に変わります)。
 上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTeraStationが故障する恐れがあります。

RAIDの設定について
 出荷時設定では、Cドライブはミラーボリューム(ディスク1、2を使用)、DドライブはRAID5ボリューム(すべてのディスクを使用)に設定されています。設定を変更したいときは、画面で見るマニュアルをご参照ください。TeraStationでは設定画面より次のモードを設定することができます。
RAID 5ボリューム 内蔵されているハードディスク(3台以上)の未割り当て領域を1つのアレイとして使用します。ドライブ1台分のパリティデータを保存しているため、ハードディスクが1台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます(2台以上故障した場合復旧できません)。
ミラーボリューム 内蔵されているハードディスクのうち2台のハードディスクの未割り当て領域を1つのアレイとして使用します。2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペアを構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(両方破損した場合、復旧することはできません)。
ストライプボリューム 内蔵されている2台以上のハードディスクの未割り当て領域を1つのアレイとして使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。
スパンボリューム スパンボリュームとは、複数のディスク上の未割り当て領域を結合して1つの論理ボリュームを生成したものです。これにより、複数のディスクを持つシステム全ての領域およびドライブ文字をより有効に使用できるようになります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。
シンブルボリューム 内蔵されている各ハードディスクを個々に使用したいときに選択ください。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。
 ※RAIDモードを変更すると変更するボリューム内のデータは、全て削除されます。必要なデータが入っているときは、データをバックアップしてからRAIDモードを変更してください。

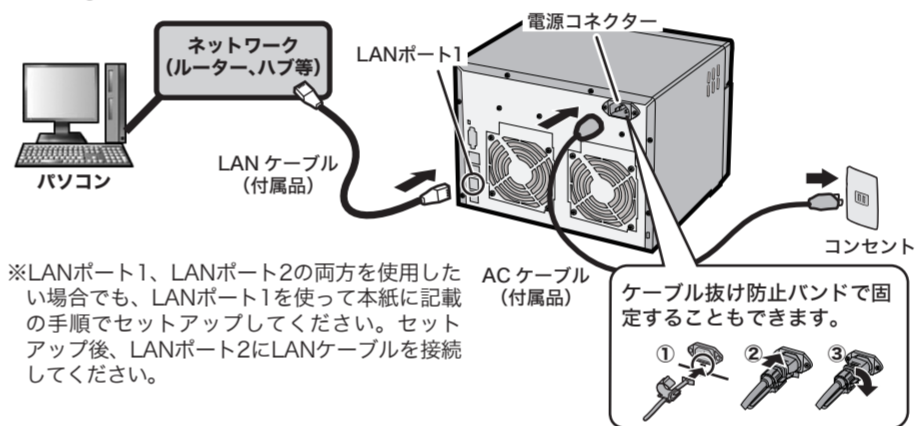
TeraStationのデータのバックアップをおすすめします
 TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えたりするために、データのバックアップをとっておくことが大切です。
 バックアップ先には当社製大容量ハードディスク(TeraStation/LinkStation、およびUSB接続外付けハードディスク)をお使いください。

セットアップ手順

TeraStationを使用するには、まず付属のUSBメモリーに収録されているTeraNavigatorにしたがって、TeraStationの接続・NAS Navigator2のインストールを行います。

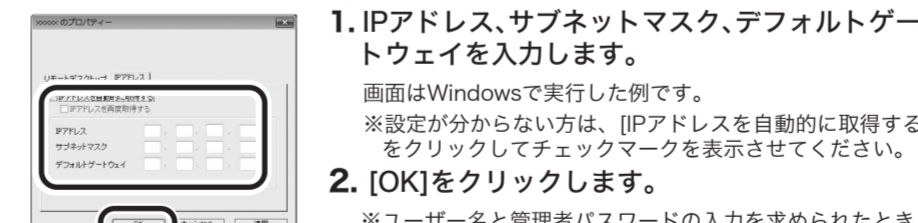
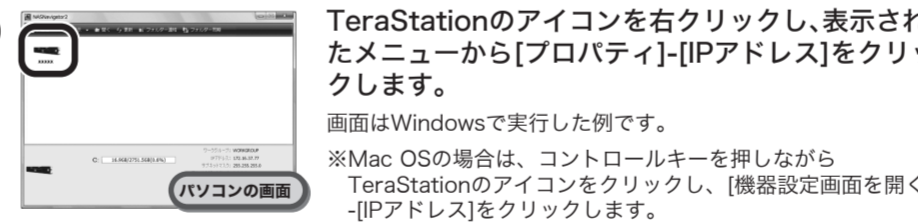
Mac OSをお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページ <http://www.microsoft.com/japan/mac/products/remote-desktop/default.aspx> から「Remote Desktop Connection Client for Mac 2(Mac OS X 10.3.9をお使いの場合、バージョン1.0.3)」をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで操作することができません(TeraStationの設定を変更することはできません)。

- 1 付属のUSBメモリーをパソコンのUSBポートに接続します。**
※Windows 2000/2000 Serverをお使いの場合、USBメモリーの書き込み禁止を解除してからUSBメモリーを接続してください(USBメモリー側面のスライドスイッチをUSB端子方向にスライドさせてください)。
- 2 TeraNavigatorが起動します。**
※「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたとき、または自動再生の画面が表示されたときは、[TeraNavigator for WS-VL]を選択してください。
※Windows 8/7をお使いの場合やTeraNavigatorが起動しない場合は、USBメモリー内の[TeraNav]フォルダーの中にあるTSNavIxeアイコンをダブルクリックしてください。
※Windows 8/7では「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックしてください。Windows Vistaでは「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。
※Mac OSでは、付属のUSBメモリー内のディスクイメージWSVL_SERIES-xxx.dmg(xxxは数字3桁)をダブルクリックしてマウントし、イメージ内の[TeraNavigator]をダブルクリックしてください。
※ウイルス対策ソフトウェアやOSのファイアウォール機能が有効に設定されている場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。
- 3 TeraNavigator画面の[かんたんスタート]をクリックします。**
※本紙では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。
- 4 以降は、画面の指示にしたがってTeraStationの接続、およびNAS Navigator2のインストールを行ってください。**



※LANポート1、LANポート2の両方を使用した場合でも、LANポート1を使って本紙に記載の手順でセットアップしてください。セットアップ後、LANポート2にLANケーブルを接続してください。

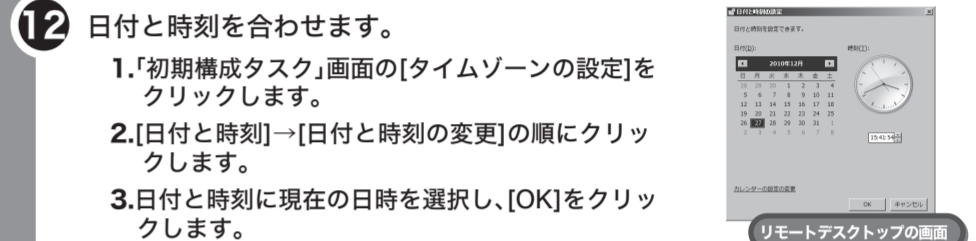
- 5 「NAS Navigator2のインストールが完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。**
- 6 NAS Navigator2が自動的に起動します。**
※後で起動する場合、Windows では、デスクトップ画面の[BUFFALO NAS Navigator2]アイコンをダブルクリックします。Mac OS では、Dock内の[NAS Navigator2]アイコンをクリックします。



※このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか? と表示されたときは、[接続]をクリックしてください。
 ※「接続先のコンピューターのIDを確認できません」と表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。



- 10 ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]キーをクリックします。**
※出荷時設定では、次のようになっています。
ユーザー名: Administrator
パスワード: password
- 11 Windows Storage Serverの更新プログラムをインストールします。**
1. 「初期構成タスク」画面の[更新プログラムのダウンロードとインストール]をクリックします。
TeraStationがインターネットに接続されている必要があります。
2. [更新プログラムの確認]をクリックします。
3. [更新プログラムのインストール]をクリックします。
以降は画面の指示にしたがってWindows更新プログラムをインストールします。
Windows Storage Serverに市販のウイルス対策ソフトウェアをインストールすることを強く推奨します。



- 12 日付と時刻を合わせます。**
1. 「初期構成タスク」画面の[タイムゾーンの設定]をクリックします。
2. [日付と時刻]→[日付と時刻の変更]の順にクリックします。
3. 日付と時刻に現在の日時を選択し、[OK]をクリックします。
- 13 共有フォルダー(share)を作成します。**

1. [スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[コンピューターの管理]の順にクリックします。
2. [共有フォルダー]をクリックします。
3. [共有]を右クリックし、表示されたメニューから[新しい共有]をクリックします。
4. [次へ]をクリックします。
5. [フォルダーパス]に「D:\Share」と入力し、[次へ]をクリックします。
6. [はい]をクリックします。
7. 共有名に「Share」と入力し、[次へ]をクリックします。
8. [アクセス許可をカスタマイズする]→[カスタマイズ]→[Everyone]→[変更(許可)]の順にクリックし、[変更(許可)]にチェックマークをつけます。
9. [セキュリティ]タブ→[編集]→[追加]の順にクリックします。
10. [選択するオブジェクト名を入力してください]に「Everyone」を入力し、[OK]をクリックします。
11. [Everyone]→[変更(許可)]の順にクリックし、[変更(許可)]にチェックマークをつけます。
12. [OK]→[OK]→[完了]の順にクリックします。
13. 「コンピューターの管理」画面の[ローカルユーザーとグループ]をクリックします。
14. [ユーザー]をダブルクリックします。
15. [Guest]をダブルクリックします。
16. [全般]タブ内の[アカウントを無効にする]のチェックマークをはずし、[OK]をクリックします。

- 14 TeraStationのパスワードを変更します。**
1. [コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[個人用パスワードの変更]の順にクリックします。
2. [現在のパスワード]に「password」、[新しいパスワード]および[新しいパスワードの確認]に任意のパスワードを入力し、[パスワードの変更]をクリックします。



- 16 TeraStation内の共有フォルダーが表示されます。**
※Mac OSでは、デスクトップ画面にTeraStationがドライブアイコンとしてマウントされるか、Finderのサイドバーに表示されます。
 以上でセットアップは完了です。
 TeraStationの共有フォルダーは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてご利用することができます。

Windows Storage ServerのLAN(ネットワークデバイス)の設定は、絶対に無効化しないでください。LANの無効化を行ってしまうと、TeraStationにアクセスできなくなります。

2台目以降のパソコンからTeraStationの共有フォルダーを開くには
 2台目以降のパソコンにNAS Navigator2をインストールします(付属のUSBメモリー内のTeraNavigator2画面から[NAS Navigator2のインストール]を選択することでインストールできます)。上記手順15、16と同様の操作で共有フォルダーを開いてください。

